



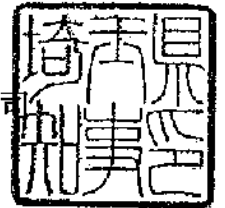
青 第 2 6 0 号

平成30年8月31日

埼玉県青少年健全育成審議会

会 長 東 宏 行 様

埼玉県知事 上 田 清 司



青少年に優良な図書の推奨について（諮問）

青少年に優良な図書として別記の図書を推奨したいので、埼玉県青少年健全育成条例第10条及び第25条第1項第1号の規定に基づき、審議会の意見を求めます。

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1540	ひよこさん 福音館書店	ひよこさんがひとりでおでかけ。だんだんくらくらくなってきて、はっぱのふとんでねんしよう。ぐうぐうぐう。なんだかとってもあったかい。あれ、おかあさんだ。ひよこさんとおかあさんは、いっしょにおうちにかえりました。乳幼児向け絵本。	(9)	
	征矢 清ノサク 林 明子ノエ	<b>選定理由</b> ひよこがひとりで冒険へ行き、最後はおかあさんといっしょに帰る安心できる話。どのページも主人公のひよこが黄色く浮き立つように描かれ、シンプルな画面構成と色彩は乳幼児に適している。大きさが乳児の視野に入る大きさでボードブックと呼ばれる厚紙で乳児でもめくりやすい作りである。読み聞かせにも向いている。		
1541	きゃべつばたけの びよこり 福音館書店	きゃべつばたけのモンシロチョウのさなぎが羽化するまでの様子が描かれた科学絵本。興味深い「さなぎの状態で動く」ことが紹介されている。植物や昆虫がやわらかいタッチで正確に描かれている。	(5)	
	甲斐信枝ノサク	<b>選定理由</b> きゃべつばたけのモンシロチョウのさなぎが羽化するまでの様子が描かれた科学絵本。植物や昆虫の正確な描写が、小さな子どもが実物を認識する手助けになる。大人でも知っている人が少ないだろう「さなぎの状態で動く」ことが紹介されていて興味深い。		
1542	ひとりになったライオン 福音館書店	独り立ちしたばかりの若いライオンが、シマウマの子供を狩ろうとするが、シマウマの群れに反撃されて失敗する話。広いサバンナにいるライオンとシマウマが正確に生き生きと描かれている。画面いっぱいの困ったライオンの顔や、シマウマから反撃される場面がインパクトがある。	(3) (5)	
	夏目義一ノ文・絵	<b>選定理由</b> 独り立ちしたばかりの若いライオンがシマウマを狩ろうとして失敗する話。絵本の作りが横長で見開き一場面となっているため、サバンナの広大さや、動物たちの迫力のある姿など臨場感が伝わってくる。画面いっぱいの困ったライオンの顔や、シマウマから反撃されるところがインパクトがある。遠目もきくため、お話し会にも向いている。		
1543	とのさま1ねんせい あすなる書房	遊ぶことが大好きな殿さまが「1年生はいやじゃ」と逃げまわり隠れてしまいます。家来たちは、殿さまを放っておいて自分たちが1年生になる準備を始め、殿さまもそれをみてうらやましくなりました。1年生になる不安を吹き飛ばしてくれる楽しい絵本。	(2)	
	長野ヒデ子・本田カヨ子ノ作・絵	<b>選定理由</b> 遊ぶことが大好きな殿さまが「1年生になりたくない」と逃げまわるが、追い掛け回して疲れた家来たちの「友だち」「給食」「優しい先生」の言葉を盗み聞きし、元気な1年生になる話。愛嬌がある殿さまが生き生きとユーモラスに描かれている。いろいろなるものを用意して、1年生になるのが楽しみになる絵本。		
1544	とらさんおねがい おきないで ひさかたチャイルド	風船を持った動物たちがとらさんを起こさないように、とらさんの向こうへ行こう話。白地に版画を使ったコラージュで動物たちがくっきりと描かれている。とらをなでたり、ふーっと息をかけたたり、たたいたり、子どもが喜びそうな参加型絵本。	(4)	
	ブリッタ・テッケントラップノ作・絵 木坂涼ノ訳	<b>選定理由</b> 風船を持った動物たちがとらさんを起こさないように、とらさんの向こうへ行こう話。白地に版画を使ったコラージュで動物たちがくっきりと描かれている。とらをなでたり、ふーっと息をかけたたり、たたいたり、子どもが喜びそうな読者参加型絵本。最後がパーティーの場面ですっきりしている。		

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1545	まほうのゆうびん ポスト  金の星社	けんには、お母さんに見せたくないテストがあった。見せたら絶対に怒られそうな点数のテスト。学校からの帰り道、けんとはそのテストを、偶然見つけたポストに入れてしまう。これで一安心と思っていたが、そのテストはお母さんに届けられていて...「パタパタバラ〜ン」と切手も住所もなかったって届いてしまうポスト。そんな不思議なポストに、けんとが次に入れる手紙は誰に宛てたものだろう。わくわくした気持ちになるお一冊。	(1) (4) (10)	
	やまだともこ / 作 いとうみき / 絵	けんには、お母さんに見せたくないテストがあった。見せたら絶対に怒られそうな点数のテスト。学校からの帰り道、けんとはそのテストを、偶然見つけたポストに入れてしまう。これで一安心と思っていたが、そのテストはお母さんに届けられていて...「パタパタバラ〜ン」と切手を張っていないでも、正しい住所がわからなくても届いてしまうポスト。けんとがポストに入れる手紙をとおして、思いやり等に気づくことができる。		
1546	サイモンは、ねこである。  あすなる書房	子ネコのサイモンが、トラやライオンたちに「ぼくたちにてますね」と言うと、みんな大笑い。「どこが似ているっていうんだ？」ひとつひとつ確かめてみることに。「それぜんぶもってます」「ちいさいですけど」似ているところを発見したトラたちとサイモンは、その後...色や大きさは違っても、たくさんの仲間がいることに気づける、ユーモアいっぱいのお話。	(1) (2) (10)	
	ガリア・バーンスタイン / 作 なががわ ちひろ / 訳	子ネコのサイモンが、トラやライオンたちに、「ぼくたちにてますね」と言うと、「どこが似ているっていうんだ？」と、みんな大笑い。小さいサイモンとトラたちに、似ているところなんてなさそうなもの。しかし、ひとつひとつ確かめてみると...。色や大きさは違っても、たくさんの仲間がいることに気づける、ユーモアがいっぱいつまった一冊。		
1547	このあいだに な にがあった？  福音館書店	毛むくじらのひつじの写真正と丸刈りにされてすっきりしたひつじの写真正。「このあいだに なにがあった？」ある出来事の前かがたくさんの写真正で説明されている。その間に、いったい何があったのか、いろいろな可能性を考えて読み進められる想像力がかき立てられる一冊。	(5) (6) (11)	
	佐藤雅彦 / 作 ユーフテラス / 作	8場面のBefore After写真絵本。始めと終わりの間に何が起きたのかを、読者は想像を大いに巡らせることができる。読み聞かせでは、様々な反応や対話を楽しみながらページを繰ることができるだろう。見開きページの真ん中を隠したり、間をとったりしながら読み進めたい。大人も一緒に、「へえ！ そうなの！」と感ずることができる。		
1548	たんけんクラブ シークレット・スリー  大日本図書	友だちのピリーとマークは、ある日砂浜でピンを拾う。その中には不思議な言葉が並ぶ紙が入っていて...。手紙を解読し、今度は二人が暗号を使って返事を出し、島の男の子と交流が始まるお話。ピリーとマークは、手紙を出した男の子に会いに行くことに。三人は出会うのか。三人の合言葉は「マトビ！」手紙の暗号を、ピリーやマークと一緒に解読しながら読める冒険物語。手紙をピンに入れて流してみたくなる、ワクワクした気持ちになれる本。	(4) (5) (6)	
	ミルドレッド・マイリック / 文 アーノルド・ローベル / 絵 小宮由 / 訳	「やってみよう！」読み終わった子どもたちは、きっとそう感ずることだろう。仲間うちにはわからない「暗号」や「サイン」「合言葉」はそれだけでわくわくする。暗号を使った手紙のやり取り、通じた喜び。海辺の様子、灯台、手こぎ船で海を渡る...読者はあたかも、主人公たちと一緒に体験を味わっているように感ずられる一冊。		
1549	よるだけパンダ  小学館	舞台は、夜も空いている不思議な動物園のお話。人気者のパンダは、夜は眠ってしまう。パンダが見られないと、なかなか人が集まらない。そんな悩みを解決するために、飼育員さんがある秘策を考える。それは、カバにパンダスーツを着せてしまう大胆な方法。そんな方法で、夜の動物園には人は集まるのか...。夜の動物園に行くと、確かめたくなる本。	(3) (6) (11)	
	くさかみなこ / 絵 大塚健太 / 作	今をときめく動物園のパンダ人気。表紙を見て、まず子どもたちは「読みたい！」と手を伸ばす。園の他の動物たちが「パンダスーツ」を着て「夜だけパンダ」に大変身！ユーモラスな絵に読み手は大喜び。キリンが、ゴリラが、ゾウまでもがパンダに！？昼間よりも夜の動物園の方が楽しそう！想像をふくらませることができる一冊。		

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1550	アルバートさんと 赤ちゃんアザラシ  徳間書店	「かつて、バルコニーでアザラシをかっていた父に捧げる」と本のはじめにあるように、実話をもとに書かれた感動の物語。母親を失った赤ちゃんアザラシを助けたいと思ったアルバートさんは、アザラシを汽車に乗せて連れて帰り、アパートのふるおけやバルコニーで世話を始める。	(1) (4) (5) (8)	
		<b>選定理由</b> 主人公のアルバートさんは、海で野生のアザラシの親子に出会う。ところが母親アザラシは死んでしまう。母親を失った赤ちゃんアザラシを助けたいと思ったアルバートさんは、アザラシを汽車に乗せて連れて帰り、アパートのふるおけやバルコニーで世話を始める。アルバートさんの心の温かさや動物への愛情が感じられる図書である。		
1551	月からきたトウ ヤーヤ  岩波書店	中国のチワン族に伝わる民話をもとにした童話。心優しい、わらじ作りの上手なおばあさんは、月から来た白ひげの老人にトウモロコシの種をもらう。まいてみると、大きくなったトウモロコシの実から赤ん坊が生まれる。赤ん坊は、トウヤーヤと名付けられ、賢く勇敢な青年に育つ。素朴で、読み手をひきつけるストーリーとリズムよいうたがあり、読み手の想像力をかきたてる本。	(4) (6) (8)	
		<b>選定理由</b> 中国のチワン族に伝わる民話をもとにした童話。素朴で読み手をひきつけるストーリーとリズムよいうたがあり、読み手の想像力をかきたてる。心優しい、わらじ作りの上手なおばあさんは、月から来た白ひげの老人にトウモロコシの種をもらう。まいてみると、大きくなったトウモロコシの実から赤ん坊が生まれる。赤ん坊は、トウヤーヤと名付けられ、賢く勇敢な青年に育つ。表紙のイラストも、色鮮やかで美しい。		
1552	はじめて見たよ！ セミのなぞ  少年写真新聞社	夏の訪れとともに登場するさまざまなセミ。中でももっとも身近なセミ、アブラゼミでさえ、まだまだわからないことがたくさんある。アブラゼミの卵から羽化していくまでの様子だけでなく、幼虫の見つけ方や家で羽化の様子を観察する方法なども書かれている。アブラゼミがなぜ都会を好むのか、クマゼミはなぜ都会に増えているのか、などの謎について触れられていて興味深い。多くの写真と細かな解説で読み応えのある一冊。	(2) (5) (7)	
		<b>選定理由</b> セミの中でもっとも身近なセミ、アブラゼミでさえまだまだわからないことがたくさんあると言われている。アブラゼミを中心に、日本各地のさまざまなセミについてたくさんの写真とともに解説されている。体のつくりや卵から羽化していくまでの様子だけでなく、見つけ方、観察の仕方も書かれていて、読んでみると自分でも探してみたくなる。アブラゼミがなぜ都会を好むのか、などの謎について触れられていてとても興味深い一冊。		
1553	この本をかくして  岩崎書店	ある日、まちに落とされた爆弾によって図書館の本はみな木端微塵となってしまった。ピーターの父が借りていたただ一冊を除いて、敵の軍隊が攻めてくる中、「それは金や銀より、もちろん宝石よりもだいたいだ。」と一冊の赤い本を手に話してくれた父の言葉を胸に、ピーターはたった一つの宝物を守ろうとする…。全てを奪う戦争の恐ろしさだけでなく、金や銀のように高価でなくても、語り継がれ、読み継がれたもの大切さについて改めて考えさせられる。	(6) (7) (8)	
		<b>選定理由</b> どのページの絵も立体的で美しい。主人公ピーターの住むまちに、爆弾が落とされた。図書館にあった本はみな木端微塵。ピーターの父が借りていた一冊を除いては、「それは金や銀より、もちろん宝石よりもだいたいだ。」と一冊の赤い本を手に話してくれた父の言葉を胸に、ピーターは宝物を守ろうとする。戦争の恐ろしさと、語り継がれ読み継がれたもの大切さについて考えさせられる。カバーを外すと、表紙がお話の中の赤い本になっている。		
1554	しりとりボクシング  小峰書店	健太に困ったことがあったら絶対に助けると誓っていた恭平。健太が言葉を言い間違えて友達からからかわれそうになるのでもいつもひやひやしている。そんな恭平たちの学年では、学年行事で「しりとり大会」が開かれることになった。辞書を見ながら健太と特訓をする恭平だったが、学級委員の小春から健太のことを下に見ていないかと言われて心が揺れる。苦手なことも得意なことも認め合える本当の友達について考えさせられる。	(2) (3) (6)	
		<b>選定理由</b> 恭平が健太のことを一方的に助けているように見える2人の関係。その始まりは、1年前、健太が幼虫の世話で恭平を助けてくれたことだった。学年行事で「しりとり大会」が開かれることになり、しりとりが苦手な健太と特訓を始めた恭平だったが学級委員の小春から健太のことを下に見ていないかと言われて心が揺れる。しりとりの特訓を通して成長していく2人の姿から、苦手なことも得意なことも認め合える本当の友達について考えさせられる。		

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1555	香菜とななつの秘密  講談社  福田隆浩 / 著	引っ込み思案で話すことが苦手な香菜が、聞き上手を武器に学校の様々な謎をクラスメートと一緒に解決する“ほのぼの”ミステリー。香菜の推理を読み進めるうちに、考え方やものの見方を知り、知らず知らず洞察力も自然に高めることができる。だんだんと登場人物の秘密が明らかになり、香菜はクラスメートと友情を深めていく。自分と友達との関わりを考えさせてくれる本である。	(2)	
		<b>選定理由</b>	(4)	
		普段何気なく過ごしている学校生活も、気をつけて周りを見てみると、楽しいことやおもしろいこと、わくわくするようなことがいっぱいあり、はっとするようなささやかな秘密があちこちにひそんでいる。そんな秘密を、話すことの苦手な主人公香菜が、聞き上手と観察眼を武器にしてクラスメートと一緒に解き明かしていく。友達や先生との関わりや考え方、ものの見方を自然と深めることができる本である。	(6)	
1556	なみきピリオバトル・ストーリー 本と4人の深呼吸  さ・え・ら書房  赤羽じゅんこ・松本聰美・おおぎやなぎちか・森川成美 / 作 黒須高嶺 / 絵	11月3日、並木図書館に集まった4人の小学生。修は、カッコよくチャンプ本をとれたかった。アキは、ペットショップの子犬の現状を伝えたかった。玲奈は、恋バナの主人公のようになりたいかった。陸は、ケンカ中の修にわかってほしいことがあった。そして、ピリオバトルの幕があがる... ピリオバトルまでの現在進行形。読みながら、ピリオバトルとその楽しさを味わうことができる本である。	(3)	
		<b>選定理由</b>	(6)	
		今話題のピリオバトルが物語の核になっている。読者は読みながら、ピリオバトルに参加している感覚が味わえる。4人の小学生がなぜその本を選んだのかという本への思いや、周りの人たちに何を伝えたいのかという本人の気持ちが読者に伝わってくる。ピリオバトルに参加したくなる本である。	(11)	
1557	運動会小説 走れ！ ヒットン  講談社  須藤靖貴 / 著	いつもリレーの選手なのに小学校最後の6年生の運動会の前に足をねんざしてしまったヒットン。代わりに新聞委員として運動会の新聞を作るために「走る」ことになる。組体操の練習を通じて、チームワークに亀裂が入ったり、名前をもじるからかいがあったりしながら、組体操の成功に向けてがんばる姿が描かれている。	(2)	
		<b>選定理由</b>	(3)	
		運動会というと、リレーや競技などに目を奪われがちだが、足をねんざして走れなくなった主人公ヒットンが、新聞づくりという運動会としては裏方の仕事を通して、様々なことに気づいていく姿が描かれている。組体操の成功に向けて、なかなかまとまらないクラスの間関係に悩みながら、それぞれが持つ思いに気づき、成長していく姿には共感させられる。	(7)	
1558	ぼくたち負け組クラブ  講談社  アンドリュー・クレメンツ / 著 田中奈津子 / 訳	本が大好きで、授業中もつい本を読んでしまうアレック。校長先生から、態度の改善が見られないと夏休みに補習授業、休みなし！と言われ、態度を改めようと頑張る。放課後の学童クラブに入り、そこで読書クラブこと「負け組クラブ」を作る。静かに本を読む時間が欲しくて始めたのだが、だんだん人数が増え、本を読んでもかきりいらなくなる。でも人との関わりも楽しいと思うようになり、変わっていく姿が描かれている。本好きな子は共感できる部分が多いと思う。	(4)	
		<b>選定理由</b>	(6)	
		本を読むことが大好きな主人公アレック。一人で静かに本を読んでいるだけのつもりが、一緒に負け組クラブに入ってくれた友達のために、スポーツに挑戦したり、本を読んだ感想を伝え合う楽しさに気づいたり、本を読むこと以外にも夢中になっていく。クラブの発表会に向け、みんなのために知恵を絞るアレック。人との関わりから成長していく主人公の姿が描かれている。	(11)	
1559	ペーパープレーン  小峰書店  スティーブ・ワーランド / 作 井上里 / 訳	オーストラリアの小さな町にすむ少年の物語。紙飛行機の大会に参加することになったディラン。家庭的には、最近事故で母親を亡くし、父親が立ち直れなくて寂しい思いをしている。どうやったら遠くまで飛ぶのか、試行錯誤しながら、自分だけのオリジナル紙飛行機を作っていく。世界大会に参加できることになり、最後には優勝するのだが、勝負に勝つことよりも大切な物がある、ということが大きなテーマとなっている。日本が世界大会の舞台ということもとても興味深い。	(4)	
		<b>選定理由</b>	(5)	
		紙飛行機の大会、紙飛行機をどれだけ遠くまで飛ばすことができるかを競う大会である。主人公は校内で勝ち抜き、全国大会、世界大会へと出場していく。その中で、父と子のかかわり、友達のかかわり、外国の友達のかかわり、ライバルとのかかわりが描かれている。紙飛行機を遠くまで飛ばす科学的な考え方や人のかかわり方が養える本である。また、紙飛行機がどこまでも飛んでいくようなさわやかな作品である。	(8)	

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1560	ファニー 13歳の指揮官  岩波書店  ファニー・ベン＝アミ / 著 ガリラ・ロンフェデル・アミット / 編 伏見操 / 訳	第2次大戦下のドイツから他国へと逃避行を続けるユダヤ人の子どもたちの実話。主人公のファニーは13歳で数十人の子どもたちのリーダーを任される。旅の途中、レジスタンスの手助けをしたり、ドラマチックな内容だが、歴史的背景がわかっていないとちょっと難しい内容。歴史的、物語的にも中学生に読ませたい内容ではある。大変な旅路であるにも関わらず、中学生向けに物語の展開がわかりやすく、主人公が抱く希望が読後感を爽やかにする。	(3)	
		選定理由	(4)	
		大戦の歴史において、目を背けてはならないドイツのナチス問題。ユダヤ人故にナチスによる迫害を被った事実は、今後も風化することはないであろう。主人公は迫害を恐れ、仲間たちを守るために勇気ある行動をとる。主人公の豊かな人間性から、思いやりや判断力など、現代にも生きる多くの示唆を得ることができる。最後まで生き抜くとの堅い決意や、主人公と彼女を支えてくれる人々との心温まる交流も描かれ、テーマの割に読後感が爽やかである。	(6)	
1561	八月の光 失われた声に耳をすませて  小学館  朽木祥 / 作	1945年8月の原爆投下近日と"その時"を描いた短編集。当時の苦しい心境と生活苦、何が何でも我慢しなければいけない苦しみ。そういったことに耐えてきたからこそ、今があると実感。原爆に被災した個人に焦点を当てて、その生きる姿を切々と伝える。「石に写った陰」のエピソードは有名であるが、亡くなった人々ひとりひとりに生きた証があったことを感じさせる。戦争で一番苦しむのは実は無垢の人々なのだ…、その声に耳を傾けたい。	(1)	
		選定理由	(2)	
		過去の苦しみに耐えてこそ、そしてその苦しみを生き抜いたからこそ現在がある。原爆投下のその日から歩み続けた人々の心がそれをよく表す。どんなことも耐えに耐えなければならなかったあの時代、原爆に被災した人々にも生きた証があり、それを継ぐ人々もいた。現在、体験者が減少傾向にある中、戦争とはどんなものか、その代償は何なのか、そのとき無垢な人々はどうのように感じ、どのように生き抜いたかを知ることができる。	(4)	
1562	ひかり舞う  ポプラ社  中川なをみ / 著 スカイエマ / 絵	主人公の男の子は架空の人物で、「おたあ」と呼ばれる朝鮮から連れてこられた少女は実在をもとにしているお話のよう。前半の主人公の幼少期からの話は奇想天外というか、いかにもファンタジーもの(それはそれで楽しめる)だが、後半は史実に基づいてお話が進行している。登場人物が魅力的なお話。男子が楽しめる本は貴重。戦国時代、戦乱で父を失い館から逃げるようになった平四郎。妹を失い、母と別れ、各地をさすらい、その時代では珍しい縫物師として自活する。	(4)	
		選定理由	(6)	
		戦国時代に一人七歳で自活を始めた平史郎の生き様と、様々な人々との出会いを通して、人間の持つ思いやりや正義感を讀みとることができる。創作歴史小説として壮大な展開の中において、少年の生き抜く力が活写されていて、状況に応じた判断力や問題解決能力が読者の心に響く。主人公だけでなく、彼と出会う人物も特徴的・魅力的であり、韓国との交流も興味深い。登場人物の描写から、誠実に生きることの大切さをなどの豊かな人間性の醸成に深く寄与すると思われる。		
1563	かならずお返事書くからね  PHP研究所  ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ / 著 リズ・ウェルチ / 編 大浦千鶴子 / 訳	アメリカの中学1年生の少女(ケイトリン)がジンバブエの二つ年上の少年と文通する。何一つ不自由のない生活をしているケイトリンが、政情不安定なジンバブエで最も貧しい暮らしをしているマーティンの現実を少しずつ知っていき、手紙も届かない状況になっても「誰かに妨害されても出し続ける」という抵抗を続ける。母の助けを借りながら、実際の往復書簡をもとに話が進む。アメリカとジンバブエの生活、環境の差が歴然。	(2)	
		選定理由	(6)	
		アメリカでの何一つ不自由のないケイトリンの生活と、政情不安定で手紙のための紙代さえ事欠くジンバブエでのマーティンの生活。このように、二人は暮らす国も環境も大きく異なる。その違いを理解し合い、友情を育む二人のような国際感覚、真の国際理解が讀み取れる作品である。また、マーティンの過酷な状況でも失わなかった勉強への熱意と努力や、彼への友情から支援を続けたケイトリンや周囲の行動力も特筆すべきものがある。	(8)	
1564	理科準備室のヴィーナス  講談社  戸森しるこ / 著	主人公は自分とは対極にある女の子に執着し、美しく謎の多い理科の先生を見つめその気持ちに戸惑う。「好き」という気持ちは異性でも同性でも家族でも同じなのか、いや同じではない、けれど境界線はとて曖昧だと感じた。そうLGBTを理解できた気がする。憧れの先生に対する想いを抑えきれず、白衣まで着てしまう始末。それだけ抑えられない気持ちは誰にでもあるのではないか。第三者の男の子もよい味を出している。人間の微妙な心理と多感性がよく表現されている。	(10)	
		選定理由	(11)	
		主人公が初めて人を好きだと自覚するまでの戸惑いや、憧れの先生への想いを抑えきれずに行動に移ってしまうところは、多くの中学生にとって非常に関心が高く、共感をもって読むことができる。そして、誰かを好きだと思う気持ちは性別や属性を越えて存在するが、それはすべて同じではなく、その境界線はとて曖昧なのだということが伝わる。LGBTを健全に理解し、共に生きる社会を考える上で、中学生にもわかりやすい作品である。		

平成30年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推薦の有無
1565	南風吹く	瀬戸内海離島の高校生5人が、家族関係や進路について葛藤を抱えつつも、俳句甲子園を目指し周囲と助け合って成長していく姿が描かれる。閉校・過疎化など離島ならではの問題が見える中、若者たちの中に島や家業への愛情が感じられて好感がもてる。五七五の短い句に込める想い、異なる解釈や表現が生まれるおもしろさ、討論により世界が広がる様も、高校生世代にとってよい刺激になる。	(3)	
	光文社	<b>選定理由</b>	(4)	
	森谷明子 / 著	主人公と友人が高校生であり、世代の悩み事を織り込みながら、目標に向かい助け合って進む姿を爽やかに描く。島 = 郷土や、家業への愛情も全体を通して伝わってくる。また、創作俳句とその大会という題材を通して、自分が感じたことを言葉にし他人に伝えたり、一つのテーマから別の解釈が生まれる面白さに目を開かされる。対象年齢が身につけたい力の養い方を掴める可能性もあると考える。	(6)	
1566	僕のジロ・デ・イタリア	イタリアのロードレースに挑む青年の成長を描くノンフィクション。普通の青年が綴る素直な心情や描写に好感がもてる。身体能力や精神力を鍛え、チームとしての戦略や情報収集などが重要であることがわかり、スポーツ少年なら勿論だが、競技スポーツというものに多少なりとも認識があれば男女問わず共感できるだろう。専門用語が多いのがやや難だが、そこを流して読んでも惹き込まれる内容。	(6)	
	東京書籍	<b>選定理由</b>	(8)	
	山本元喜 / 著	ロードレースに馴染みはなくても、普通の若者がスポーツを通してチャレンジし、心を磨き生きる力を高める姿勢に共感できる。努力して結果を出すというのは普遍的な事柄で対象世代に合う。専門用語がわからなくても本質は読み取れ、自らの世界を広げ海外で活躍する人物の本としても良本。装丁や文字は一見して手に取りにくいのが、実際読んでみると文章は読みやすく、親しみが感じられる内容。		
1567	淳子のてっぺん	実在の川越在住登山家の人生を基に書かれている。山に夢を抱き登り続けた主人公だけでなく、共に夢を支えて応援し続けた夫の存在、登山仲間たちとの協力と準備段階での奮闘、栄光を掴む機会を逸した者たちとの確執、常に隣りあわせにある死の恐怖などが組み込まれ、読み応えあり。ページ半ばで知るタイトルの意味も深く、これから自分の道を拓いていく世代にぜひ読んでもらいたい。	(4)	
	幻冬舎	<b>選定理由</b>	(5)	
	唯川 恵 / 著	有名登山家をモデルとした現代女性一代記。女性の立場が低かった時代から、夢に向かって進みそれを叶えた主人公の姿に、特に女性読者ならば勇気づけられる。また、田部井淳子氏のプロジェクトに参加したことで前に進んでいく力を得た被災高校生たちのエピソードは、同世代の読者にとって良いきっかけとなる可能性がある。	(7)	
1568	本を守るうとする猫の話	育ての親である祖父の死後、引きこもっていた主人公の前に、突然現れた猫。本に対する知識と愛情からその依頼に応えて「本を助け出す」冒険を重ねる主人公が、最後には共に冒険をした同級生女子を助けるために冒険に向かう。主人公と共に読み手も、本の力や本に込められた人の思いに改めて気づいていく。全ての冒険を終えた主人公は、自分で道を選んで決意する、成長の感じられるラストで読後感もよい。	(4)	
	小学館	<b>選定理由</b>	(6)	
	夏川草介 / 著	迷宮で問題をクリアするファンタジー、というRPG(ロールプレイングゲーム)のようだが、途中から同級生が加わることで現実とのバランスもとれ、引きこもりの主人公が人と関わっていくようになる様子が無理なく納得できる。主人公や亡き祖父(すなわち著者の)本を大切に思う気持ちが随所に散りばめられ、猫から依頼された問題解決を通じて主人公がゆっくりと自分の道を見つけてゆく様子が柔らかな空気感で描かれている。		
1569	雲上雲下	山奥の「草どん」が、子狐にねだられて記憶の底に眠っていたお話を語り始める。やがて子狐は成長し、物語内の一員であった本来の姿に戻る。人々に忘れ去られていたが登場人物たちが「草どん」の語りで呼び起こされ別の世界へ去ろうとする中、「草どん」はようやく自分が何者だったのか、なぜ現在の姿になったのかを思い出す。	(4)	
	徳間書店	<b>選定理由</b>	(5)	
	朝井まかて / 著	昔語り、物語の持つおもしろさ・豊かさに改めて気づかされる。どこかで聞いたことのある日本昔話をベースにした物語が味わい深く語られ、聴き手 = 読み手の思い描く力が刺激される。人の暮らしが神話の時代から綿々と繋がっていることを思い起こさせる一方で、「己の目で判ぜよ」「己の運命を選ぶ」といった生き方の普遍的問題を取り上げたり、物語り紡いでゆくことや分けあうことの失われつつある現代への警鐘も鳴らしている。スマホ越しの関係が通常となってしまっている現代だからこそ読んでもらいたい。	(6)	

## 平成30年度 埼玉県推奨図書(諮問図書)一覧表

諮問番号	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(本体)	コード
1540	乳幼児	ひよこさん	征矢 清／さく 林 明子／え	福音館書店	¥800	978-4-8340-8314-9
1541	乳幼児	きゃべつばたけの ぴよこり	甲斐信枝／さく	福音館書店	¥900	978-4-8340-8332-3
1542	乳幼児	ひとりになったライオン	夏目義一／文・絵	福音館書店	¥1,400	978-4-8340-8331-6
1543	乳幼児	とのさま1ねんせい	長野ヒデ子・本田カヨ子／作・絵	あすなろ書房	¥1,300	978-4-7515-2827-3
1544	乳幼児	とらさんおねがいおきないで	ブリッタ・テッケントラップ／作・絵 木坂涼／訳	ひさかたチャイルド	¥1,400	978-4-86549-094-7
1545	小学校低学年	まほうのゆうびんポスト	やまだともこ／作 いとうみき／絵	金の星社	¥1,200	978-4-323-07396-5
1546	小学校低学年	サイモンは、ねこである。	ガリア・バーンスタイン／作 なかがわちひろ／訳	あすなろ書房	¥1,400	978-4-7515-2834-1
1547	小学校低学年	このあいだに なにがあった？	佐藤雅彦／作 ユーフテラス／作	福音館書店	¥900	978-4-8340-8336-1
1548	小学校低学年	たんけんクラブ シークレット・スリー	ミルドレッド・マイリック／文 アーノルド・ローベル／絵 小宮由／訳	大日本図書	¥1,400	978-4-477-03072-2
1549	小学校低学年	よるだけパンダ	くさかみなこ／絵 大塚健太／作	小学館	¥1,450	978-4-09-726742-3
1550	小学校中学年	アルバートさんと 赤ちゃんアザラン	ジュディス・カー／作・絵 三原泉／訳	徳間書店	¥1,400	978-4-19-864409-3
1551	小学校中学年	月からきたトウヤーヤ	蕭甘牛／作 君島久子／訳	岩波書店	¥640	978-4-00-114239-6
1552	小学校中学年	はじめて見たよ！セミのなぞ	新開孝／写真・文	少年写真新聞社	¥1,600	978-4-87981-603-0
1553	小学校中学年	この本をかくして	マーガレット・ワイルド／文 フレヤ・ブラックウッド／絵 アーサー・ビナード／訳	岩崎書店	¥1,500	978-4-265-85056-3
1554	小学校中学年	しりとりボクシング	新井けいこ／作 はせがわはっち／絵	小峰書店	¥1,300	978-4-338-31901-0
1555	小学校高学年	香菜とななつの秘密	福田隆浩／著	講談社	¥1,300	978-4-06-220473-6
1556	小学校高学年	なみきビブリオバトル・ストーリー 本と4人の深呼吸	赤羽じゅんこ・松本聡美・おおぎやなぎちか・森川成美／作 黒須高嶺／絵	さ・え・ら書房	¥1,400	978-4-378-01552-1
1557	小学校高学年	運動会小説 走れ！ ヒットン	須藤靖貴／著	講談社	¥1,400	978-4-06-283246-5
1558	小学校高学年	ぼくたち負け組クラブ	アンドリュー・クレメンツ／著 田中奈津子／訳	講談社	¥1,400	978-4-06-283247-2
1559	小学校高学年	ペーパープレーン	スティーブ・ワーランド／作 井上里／訳	小峰書店	¥1,400	978-4-338-30803-8
1560	中学校	ファニー 13歳の指揮官	ファニー・ベン＝アミ／著 ガリラ・ロンフェデル・アミット／編 伏見操／訳	岩波書店	¥1,500	978-4-00-116010-9
1561	中学校	八月の光 失われた声に耳をすませて	朽木祥／作	小学館	¥1,400	978-4-09-289756-4
1562	中学校	ひかり舞う	中川なをみ／著 スカイエマ／絵	ポプラ社	¥1,500	978-4-591-15649-0
1563	中学校	かならずお返事書くからね	ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ／著 リズ・ウェルチ／編 大浦千鶴子／訳	PHP研究所	¥1,600	978-4-569-78732-9
1564	中学校	理科準備室のヴィーナス	戸森しるこ／著	講談社	¥1,300	978-4-06-220634-1
1565	高校・青年	南風吹く	森谷明子／著	光文社	¥1,600	978-4-334-91177-5
1566	高校・青年	僕のジロ・デ・イタリア	山本元喜／著	東京書籍	¥1,600	978-4-487-81067-3
1567	高校・青年	淳子のてっぺん	唯川 恵／著	幻冬舎	¥1,700	978-4-344-03168-5
1568	高校・青年	本を守ろうとする猫の話	夏川草介／著	小学館	¥1,400	978-4-09-386463-3
1569	高校・青年	雲上雲下	朝井まかて／著	徳間書店	¥1,700	978-4-19-864559-5